



岩手労働局発表
平成31年4月17日

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 高橋 友行
課長補佐 和野内 利幸
(電話) 019 - 604 - 3007

平成30年の年間(確定値)及び平成31年1月～3月分(速報値)
の労働災害発生状況を公表します

～平成30年の死傷者数は、前年比0.1%の減少～

～平成31年(1月～3月)の死傷者数は、前年同期比6.6%の減少～

岩手労働局(局長 おしか まさや 小鹿 昌也)は、平成30年及び平成31年1月～3月の県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成30年の死傷者数(確定値)は1,351人となり、前年比で2人(0.1%)減少しました。死亡者数(確定値)は16人と前年比で7人減少しました。

平成31年1月～3月(3月末現在の速報値)の死傷者数は296人となり、前年同期比で21人(6.6%)の減少、死亡者数は4人と前年同期比で1人の減少となっています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

平成30年1月から12月末までの労働災害発生状況(確定値)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】(P.3) 【グラフ1】(P.6) 【グラフ2】(P.7)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,351人で、前年比で2人(0.1%)減少しました。

(2) 業種別の状況

前年比で増加した業種は、「製造業」298人(前年比+25人、+9.2%)、「運輸交通業」162人(前年比+19人、+13.3%)、「畜産・水産業」60人(前年比+12人、+25.0%)、「通信業」31人(前年比+7人、+29.2%)などとなっています。

前年比で減少した業種は、「接客娯楽業」52人(前年比-28人、-35.0%)、「建設業」269人(前年比-16人、-5.6%)、「農林業」53人(前年比

- 14 人、 - 20.9%)、「商業」173 人(前年比 - 8 人、 - 4.4%) などとなっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、364 人(26.9%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、231 人(17.1%)、「はさまれ、巻き込まれ」145 人(10.7%)の順となっています。

2 死亡災害 【表2】(P.4) 【表3】(P.5)

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は16人で、前年比で7人減少しました。

(2) 業種別の状況

業種別では、「建設業」で9人、「製造業」「林業」で各2人、「運輸交通業」「保健衛生業」「清掃・と畜業」で各1人となっています。

平成31年(1月～3月)の労働災害発生状況(平成31年3月末現在 速報値)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表4】(P.8) 【グラフ3】(P.11) 【グラフ4】(P.12)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は296人(速報値)で、前年同期比で21人、(6.6%)減少となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、「商業」48人(前年同期比+5人、+11.6%)、「保健衛生業」25人(前年同期比+5人、+25.0%)、「接客娯楽業」13人(前年同期比+3人、+30.0%) などとなっています。

前年同期比で減少した業種は、「製造業」60人(前年同期比-12人、-16.7%)、「運輸交通業」32人(前年同期比-12人、-27.3%)、「建設業」53人(前年同期比-9人、-14.5%) などとなっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、113 人(38.2%)となっています。次いで、「墜落・転落」51 人(17.2%)、「はさまれ・巻き込まれ」31 人(10.5%)となっています。

2 死亡災害 【表5】(P.9) 【表6】(P.10)

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は4人で、前年同期比(3月31日までに報告のあった人数)で1人減少となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では「建設業」で3人、「運輸交通業」で1人となっています。

【表1】

平成30年 1月～12月 平成30年 労働 災害 発生 状況 (休業4日以上の死傷者数)

平成30年 1月～12月

岩手労働局

業 種	30年	29年	対前年同期		盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
			増減数	増減率							
製造業	食料	33	21 (1)	12	57.1%	1	6	9	12	12	5
	水産食料品	95 (3)	88	7	8.0%	36 (1)		2	23 (1)	8	16 (1)
	上記以外の食料品	11	8	3	37.5%	5			2	1	
	繊維・衣服その他繊維製品	40	32	8	25.0%	7	5	2	7	1	8
	木材・木製品、家具・装備品	7	7	0	0.0%	1				6	
	パルプ・紙、印刷・製本	16	14	2	14.3%	6		2	3	2	1
	化学工業	12 (1)	11	1	9.1%	1	1	3	2	5	2 (1)
	窯業土石	11	11	0	0.0%	1			6	1	
	鉄鋼業、非鉄金属	18	22 (1)	-4	-18.2%	7		1	7	3	
	金属製品	12	11	1	9.1%	1		1	7	1	1
	一般機械器具	8	11 (1)	-3	-27.3%	2		1	2	2	1
	電気機械器具	12	8	4	50.0%	4		3	3	2	
	輸送用機械製造	3	1	2	200.0%	3					
	電気・ガス	20	28	-8	-28.6%	7	1	1	3	3	2
	その他の製造	298 (4)	273 (3)	25	9.2%	82 (1)	13	25	65 (1)	39	37 (1)
小計	2	5	-3	-60.0%	1						
建設業	土木工事	99 (7)	102 (6)	-3	-2.9%	17	26 (1)	11	14 (3)	6	18 (3)
	建築・鉄筋家屋	22 (4)	27 (4)	-5	-18.5%	7	1	4 (3)	4 (1)	3	3
	木造家屋	68 (1)	73 (2)	-5	-6.8%	20	6	7	14	8 (1)	10
	その他の建築工事	45 (4)	40 (6)	5	12.5%	12		4	19	2	5 (4)
	その他の建設	35 (3)	43 (8)	-8	-18.6%	7 (1)		1	15	5 (1)	3 (1)
	小計	269 (19)	285 (26)	-16	-5.6%	63 (1)	33 (1)	27 (3)	66 (4)	24 (2)	39 (8)
	道路貨物運送業	142 (13)	128 (5)	14	10.9%	64 (7)	6	3	39 (1)	17 (2)	8 (2)
	その他の運輸交通業	20 (2)	15 (1)	5	33.3%	10	2 (1)		3	3	1 (1)
	貨物取扱	1	5	-4	-80.0%				1		
	農林業	12	11 (1)	1	9.1%	3	3		5	1	
商業	林業	41	56	-15	-26.8%	14	3	2	5	3	11
	畜産	51	33	18	54.5%	18	1	2	19	2	5
	水産業	9	15	-6	-40.0%		4	2		3	
	小売業	130 (12)	148 (14)	-18	-12.2%	63 (5)	3 (1)	6	26 (3)	14 (1)	10 (1)
	その他の商業	43 (5)	33 (1)	10	30.3%	19 (4)	1 (1)	3	15	2	3
	小計	31 (14)	24 (13)	7	29.2%	12 (6)	3 (2)	1	9 (3)	2 (1)	3 (2)
	社会福祉施設	101 (5)	93 (7)	8	8.6%	31	4 (1)	7	25 (1)	25	5 (2)
	その他の保健衛生業	14	21 (2)	-7	-33.3%	7			6		1
	旅館業	10 (1)	24 (1)	-14	-58.3%	4	1		4 (1)		1
	飲食店	22 (1)	29 (1)	-7	-24.1%	16 (1)			4	1	
その他	その他の接客娯楽業	20 (1)	27 (1)	-7	-25.9%	12			5 (1)	2	1
	ビルメンテナンス業	31	30 (1)	1	3.3%	21	1	1	5	3	
	その他(上記以外の全ての業種)	104 (14)	98 (9)	6	6.1%	50 (9)	4	3	22 (3)	6	16 (1)
	合 計	1,351 (91) ㊸	1,353 (86)	-2	-0.1%	490 (34)	82 (7)	82 (3)	324 (18)	144 (6)	87 (6)
				前年同期	468 (39)	103 (11)	93 (2)	319 (17)	140 (6)	83 (4)	147 (7)
				増減数	22	-21	-11	5	4	4	-5
				増減率	4.7%	-20.4%	-11.8%	1.6%	2.9%	4.8%	-3.4%

(注) 平成31年3月末の確定値である。
数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。

[表2]

平成30年 死亡災害発生状況 (確定値)

岩手労働局

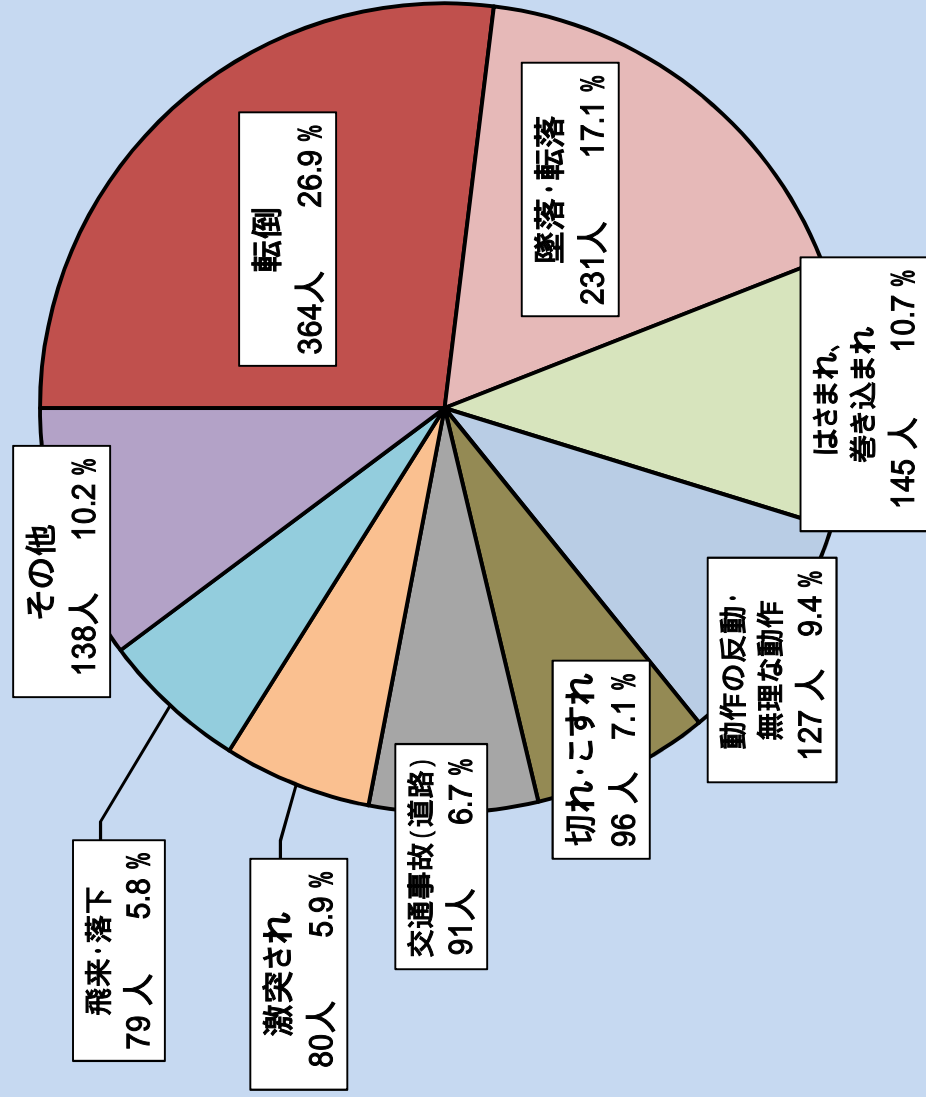
番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	2月	木	男	60歳代 (10年以上 20年未満)	その他	分類不能	岩手県花巻市で荷を積み込み出発、翌々日に愛知県津島市の精米工場に到着、袋(30kg)の荷下ろし作業中に倒れていたのを発見された。救急搬送されるも、死亡。
2	釜石	建設業 (道路建設工事業)	2月	土	男	60歳代 (1年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	トラック	盛土材を運搬してきた10tダンプを誘導していた被災者の背後から4tダンプが後進してきて、轢かれたもの。
3	花巻	建設業 (木造家屋建築工事業)	2月	火	男	70歳代 (50年以上 60年未満)	崩壊、 倒壊	建築物、 構築物	倉庫脇のテント小屋内で住宅新築工事に使用するレンガを加工する作業中、屋根(ブルーシート)の積雪と倉庫からの落雪によりテント小屋が崩壊し、構造部材(腐材)や落雪の下敷きとなった。
4	盛岡	建設業 (橋梁建設工事業)	3月	木	男	60歳代 (1年未満)	飛来、 落下	金属材料	橋脚築造工事の土止め支保工解体作業中、腹起こしのブラケット材をガス溶断していたところ、腹起こしが落下しないようあらかじめチェーンブロックを両端2箇所に掛け、一段上の腹起こしに当該腹起こしをつり下げようとしていたが、ブラケット材が溶断された際に片方のチェーンブロックが破断、腹起こしが両方とも落下、上段の腹起こしの下敷きとなった。
5	盛岡	清掃・と畜業 (産業廃棄物処理業)	3月	土	男	50歳代 (10年以上 20年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	トラック	被災者が一人でダンボールの回収作業を行っていたところ、ごみ収集車が前進し、ごみ収集車と門柱に挟まれた。
6	二戸	建設業 (港湾海岸工事業)	3月	火	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	おぼれ	整地・運搬・積み込み用機械	防波堤拡幅工事において、防波堤に置ききされた被覆ブロック(重量4.0t)を積み上げるためドラグ・ショベルで吊り上げた状態で後進し右旋回させたところ、旋回角度が90度付近でバランスを崩し、ドラグ・ショベルとともに海中に墜落した。
7	大船渡	製造業 (プラスチック製品製造業)	4月	土	男	20歳代 (1年未満)	転倒	フォークリフト	フォークリフトでプラスチック原料を運搬後、空荷でフォークを高く上げた状態で走行。十分に減速せずに急ハンドルをきった為、フォークリフトが転倒し、負傷。11日後に死亡した。
8	宮古	農林業 (木材伐出業)	6月	火	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	墜落、 転落	走行集材機械	伐倒木をフォワーダに積み、土場に向かって作業道を走行中、勾配12°の作業道を後進している際に作業道から約6m下に転落、運転席から投げ出され、フォワーダの下敷きになった。
9	二戸	保健衛生業 (社会福祉施設)	7月	水	女	50歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、 転落	階段、 棧橋	介護施設内において、2階から1階へ階段を降りていたところ、下から6段目付近(高さ約1m)から転落した。
10	二戸	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業)	7月	金	男	70歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、 転落	屋根、 はり、 もや、 けた、 合掌	倉庫屋根の改修工事において屋根上でスレートの撤去作業中、スレートを踏み抜いて高さ約6.5mからコンクリート床面に墜落した。
11	宮古	農林業 (木材伐出業)	7月	火	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	激突され	立木等	皆伐現場にて、傾斜約48度の斜面に倒された伐倒木を斜面下方から林業グラップルで引っ張り、運搬する作業中、引っ張った伐倒木とは別の伐倒木(カラマツ、長さ26m、先端の直径7~10cm)が斜面を滑落して、防護柵のすき間から運転席を貫通した。
12	花巻	建設業 (その他の建築工事業)	7月	火	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	転倒	整地・運搬・積み込み用機械	建築物(鉄骨造)の解体作業中、天井板等をパワーショベル(機体重量1.5t、ヘッドガード無し。)を運転し落としていたところ、天井材等がパワーショベルのアームに崩れ落ち、重機が横転、投げ出された被災者が柱(鉄骨)と重機の間に挟まれた。
13	二戸	建設業 (その他の土木工事業)	8月	木	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク	青森県弘前市から岩手県久慈市の工事現場に向かうため県道を走行中、トンネル出口付近でハンドル操作を誤り壁面に車体助手席側が衝突、反動で対向車線にはみ出し、トンネルを出た先の対向車線側のガードケーブルを突き破り、戸呂町川へ車ごと転落した。
14	二戸	建設業 (機械器具設置工事業)	9月	月	男	20歳代 (1年未満)	交通事故 (道路)	トラック	作業場に戻るため国道を走行中トンネルに入ったところ、濡れている路面でスリップし左後車輪が縁石にぶつかり、反動で対向車線にはみ出して大型トラックと正面衝突した。
15	大船渡	建設業 (道路建設工事業)	10月	土	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	開口部	橋台の周囲を鋼矢板で囲みダンプで運ばれてきた土砂をダンプアップで埋め立てる作業をしていたところ、ダンプの誘導者が約3.2m下の埋立地面上に墜落した。
16	釜石	製造業 (非鉄金属鋳物業)	12月	火	男	50歳代 (40年以上 50年未満)	墜落、 転落	はしご等	工場の壁に看板を取り付ける作業中、はしごから墜落した。

【表3】 平成30年 死亡災害発生状況（事故の型別等）（確定値）

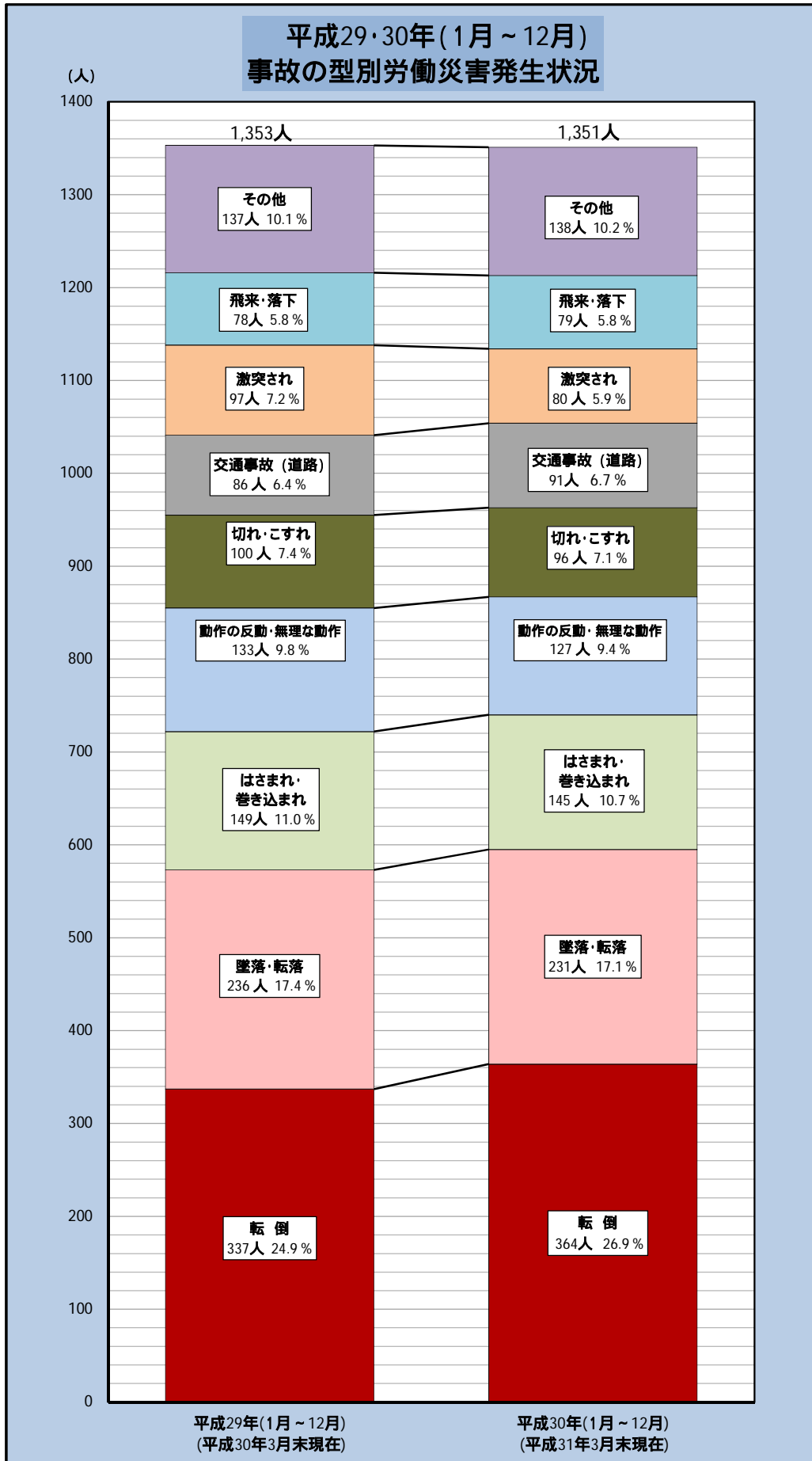
業種別	製造業 2人 (3人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 9人 (8人)	運輸業 1人 (3人)	林業 2人 (4人)	商業 0人 (1人)	左記以外 2人 (4人)
監督署別	盛岡 3人 (5人)	宮古 2人 (6人)	釜石 2人 (2人)	花巻 2人 (6人)	一関 0人 (0人)	大船渡 2人 (1人)	二戸 5人 (3人)
事故の型別	墜落・ 転落 (7人)	転倒 (1人)	飛来・ 落下 (2人)	崩壊・ 倒壊 (3人)	激突 され (1人)	はさまれ・ 巻き込まれ (2人)	切れ・ こすれ (0人)
	破裂 0人 (0人)	高温の物 との接触 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物 等との 接触 (0人)	交通事故 2人 (7人)	その他 2人 (0人)
16人 (前年23人)							

注：()内は前年

【グラフ1】 平成30年(1月～12月)労働災害発生状況 (事故の型別)
岩手労働局



平成31年3月末の確定値である。
数字は死者数(内数)である。



【表4】

平成31年労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

平成31年 1月～3月

岩手労働局

業種	岩手局		増減数	増減率	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
	31年	30年									
製造業	食料	3	7	-4	-57.1%						
	水産食料品	21	19 (1)	2	10.5%	9	1			2	
	上記以外の食料品	4	4	0	0.0%						5
	繊維・衣服その他繊維製品	6	9	-3	-33.3%	1	1			1	
	木材・木製品、家具・装備品	1	3	-2	-66.7%	1					
	パルプ・紙、印刷・製本	2	5	-3	-60.0%	1				1	
	化学工業	4	5 (1)	-1	-20.0%		1				
	窯業土石	1	4	-3	-75.0%	1					
	鉄鋼業、非鉄金属	8	4	4	100.0%	2				2	1
	金属製品	1	2	-1	-50.0%						
	一般機械器具	5	2	3	150.0%					1	
	電気機械器具	1	4	-3	-75.0%						
	輸送用機械製造	3	4	-1	-25.0%						1
	電気・ガス	60	72 (2)	-12	-16.7%	15	3	1	20	7	5
	その他の製造	1	1								
小計	18	22 (1)	-4	-18.2%	3	4	2	6		1	2
建設業	土木工事	7	3	4	133.3%	2	1				2
	鉄骨・鉄筋家屋	14 (1)	21	-7	-33.3%	3	2 (1)			1	4
	木造家屋	11 (4)	8 (4)	3	37.5%						
	その他の建築工事	3	8	-5	-62.5%		1				
	その他の建設	53 (5)	62 (5)	-9	-14.5%	8	8 (1)	2	23 (4)	2	2
	小計	25 (3)	34 (1)	-9	-26.5%	13 (3)	1	1	7	3	
運輸交通業	道路貨物運送業	7 (1)	10	-3	-30.0%	5	1			1 (1)	
	その他の運輸交通業										
貨物取扱											
農業	農業	12	9	3	33.3%	3	4				2
	林業	10	10	0	0.0%	4					4
畜産水産業	畜産業	42 (5)	35 (3)	7	20.0%	18 (2)					2
	水産業	6	8	-2	-25.0%	2					1
商業	小売業	6 (3)	13 (6)	-7	-53.8%	1	2 (1)			1 (1)	1
	その他の商業	19 (2)	17	2	11.8%	4 (1)	3	2	2	2 (1)	1
通信業	社会福祉施設	6	3	3	100.0%	4					
	その他の保健衛生業	6	3 (1)	2	66.7%	3					
接客娯楽業	旅館業	5	3	2	66.7%	3					
	飲食店	2	4	-2	-50.0%	1					
その他	その他の接客娯楽業	7	10	-3	-30.0%	4					
	ビルメンテナンス業	28 (5)	23 (1)	5	21.7%	9 (1)	3 (1)	1	5	1	8 (2)
その他(上記以外の全ての業種)	296 (24)	317 (19)	-21	-6.6%	98 (7)	25 (3)	13	88 (7)	26 (3)	10 (2)	36 (2)
合計					90 (4)	23 (2)	25	79 (3)	42	21 (3)	37 (7)
					8	2	-12	9	-16	-11	-1
					8.9%	8.7%	-48.0%	11.4%	-38.1%	-52.4%	-2.7%

(注)平成31年3月末の速報値である。数字は死傷者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。

平成31年 死亡災害発生状況（3月31日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	一関	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	1月	男	70歳代 (10年以上 20年未満)	飛来、 落下	解体用機械	解体用機械でFRP製タンクの破砕作業中、つかみ具でタンク内部の鋼管（直径5cm、20kg）の輪3つを楕円状につぶすため、2つの輪をつかんだ際、1つが横方向に飛び、被災者の腹部に激突した。
2	宮古	建設業 (道路建設工事業)	3月	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	墜落、 転落	締固め用機械	被災者がロード・ローラーを運転中、路肩からロード・ローラーごと転落、傾斜40度の法面を5.6m下った所の擁壁上でロード・ローラーの下敷きになった。
3	二戸	建設業 (トンネル建設工事業)	3月	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	崩壊、 倒壊	地山、岩石	トンネル建設工事の切羽において一次コンクリート吹付後、支保工の建て込み準備をしていたところ、切羽左上部から岩塊（1m位）が2回に分けて落下した。
4	大船渡	建設業 (土地整理土木工事業)	3月	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 建設機械等	鶏舎2階と高台に架かる通路橋（傾斜していて、幅4m×長さ20m）の下を舗装する工事にて、アスファルトファイニッシャーを運転し、通路橋の下へ後進させたところ、通路橋の横梁（高さ1.5m）とアスファルトファイニッシャーの単体（高さ1.8m）との間に運転手が上半身を挟まれた。

【表6】

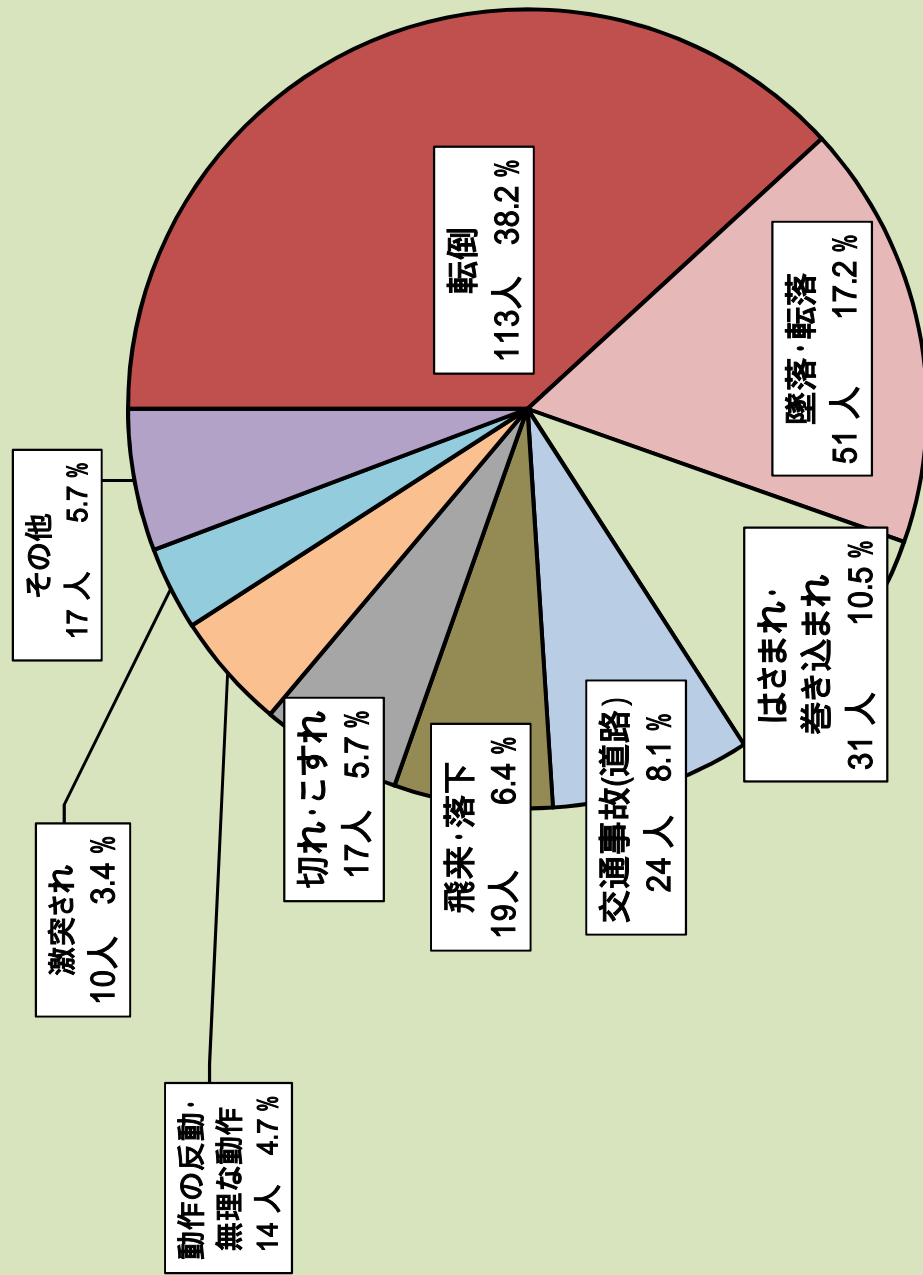
平成31年 死亡災害発生状況（事故の型別等） 3月31日現在

業種別	製造業 0人 (0人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 3人 (4人)	運輸業 1人 (0人)	林業 0人 (0人)	商業 0人 (0人)	左記以外 0人 (1人)
監督署別	盛岡 0人 (2人)	宮古 1人 (0人)	釜石 0人 (1人)	花巻 0人 (1人)	一関 1人 (0人)	大船渡 1人 (0人)	二戸 1人 (1人)
事故の型別	墜落・転落 1人 (1人)	転倒 0人 (0人)	飛来・落下 1人 (1人)	崩壊・倒壊 1人 (1人)	激突され 0人 (0人)	はさまれ・巻き込まれ 1人 (2人)	切れ・こすれ 0人 (0人)
	破裂 0人 (0人)	高温の物との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	有害物等との接触 0人 (0人)	交通事故 0人 (0人)	その他 0人 (0人)	

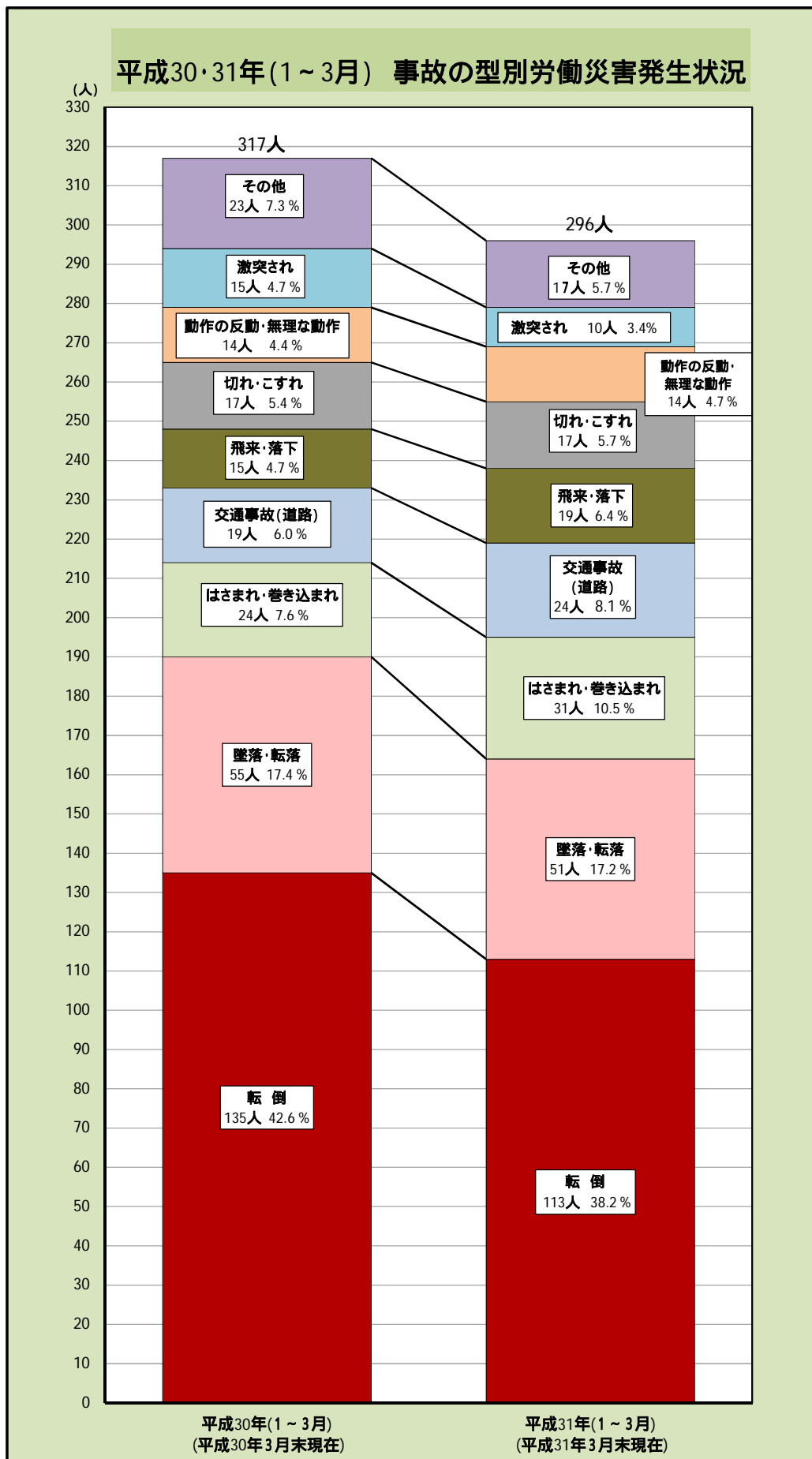
4人
(前年同期5人)

注：()内は前年同期

[グラフ3] 平成31年(1月～3月)労働災害発生状況(事故の型別)
岩手労働局



平成31年3月末の速報値である。
○数字は死者数(内数)である。



平成30年労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

平成30年 (平成31年3月末統計)

岩手労働局

業種	30年	29年	月別発生状況												
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
食料品	33	21 (1)	12	5	4	4	2	4	2	4	3	1	1	1	4
水産食料品	95 (3)	88	7	8	10 (1)	10	5	11 (1)	8 (1)	7	3	6	7	10	
上記以外の食料品	11	8	3	2	3				3		1	1		1	
繊維・衣服その他繊維製品	40	32	8	2	5	7	3	3	3	3	1	4	4	3	
木材・木製品、家具・装備品	7	7	0	2	1	2	3	1	2	2	1	1	1	1	
パルプ・紙、印刷・製本	16	14	2	2	3	3	3	1	1	1	1	2	1	1	
化学工業	12 (1)	11	1	1	4 (1)	1	1	1	1	1	1	1	1	2	
窯業・土石	11	11	0	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	
鉄鋼業、非鉄金属	18	22 (1)	-4	1	3	1	2	1	1	2	1	2	1	1	
金属製品	12	11	1	1	1	1	2	4	2	1	2		1		
一般機械器具	8	11 (1)	-3	2	2	1	3	1	1	1	2	2	1	1	
電気機械器具	12	8	4	3	3	3	3	4	50.0%						
輸送用機械製造	3	1	2	1	1	1	1	1	200.0%						
電気・ガス	20	28	-8	3	2	3	2	1	-28.6%						
その他の製造	298 (4)	273 (3)	25	35	27 (1)	28	17	26 (1)	9.2%						
小計	2	5	-3	8 (1)	9	10	5	10 (1)	-60.0%						
土木工事	99 (7)	102 (6)	-3	8 (1)	9	10	5	10 (1)	-2.9%						
鉄骨・鉄筋家屋	22 (4)	27 (4)	-5	1	3		2	2 (1)	-18.5%						
木造家屋	68 (1)	73 (2)	-5	10	3	11 (1)	5	6	-6.8%						
その他の建築工事	45 (4)	40 (6)	5	5 (4)	4	4	6	5	12.5%						
その他の建設	35 (3)	43 (8)	-8	4 (1)	8 (1)	1	2	1	-18.6%						
小計	269 (19)	285 (26)	-16	28 (6)	27 (1)	26 (1)	20	24 (2)	-5.6%						
道路貨物運送業	142 (13)	128 (5)	14	20 (1)	14 (1)	12 (1)	12 (1)	9 (1)	10.9%						
その他の運輸交通業	20 (2)	15 (1)	5	7	5	2 (1)			33.3%						
貨物取扱	1	5	-4						-80.0%						
農業	12	11 (1)	1		1	1	2	2	9.1%						
林業	41	56	-15	4	3	4	3	6	-26.8%						
畜産業	51	33	18	3	3	5	4	8	54.5%						
水産業	9	15	-6		2	1	2	1	-40.0%						
小売業	130 (12)	148 (14)	-18	18 (1)	21 (2)	12 (3)	7	11 (2)	-12.2%						
その他の商業	43 (5)	33 (1)	10	4	3	3	1	1 (1)	30.3%						
小計	31 (14)	24 (13)	7	7 (3)	5 (2)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	29.2%						
社会福祉施設	101 (5)	93 (7)	8	8	11	7	8 (1)	8 (1)	8.6%						
その他の保健衛生業	14	21 (2)	-7	2	2	2	1	4	-33.3%						
旅館業	10 (1)	24 (1)	-14		2	1	1	1	-58.3%						
飲食店	22 (1)	29 (1)	-7	2 (1)	1	3	2	1	-24.1%						
その他の接客娯楽業	20 (1)	27 (1)	-7	2	3	1	2	4 (1)	-25.9%						
ビルメンテナンス業	31	30 (1)	1	4	1	1	1	1	3.3%						
その他(上記以外の全ての業種)	104 (14)	98 (9)	6	13 (1)	12 (1)	7 (2)	5	9	6.1%						
合計	1,351 (91)	1,353 (86)	-2	155 (13)	153 (9)	115 (10)	102 (3)	89 (6)	-0.1%						

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。
内は死亡者数(内数)である。()内は交通労働災害者数(内数)である。

平成31年労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

平成31年（平成31年3月末統計）

岩手労働局

業種	31年	30年	月別発生状況														
			増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	食料品	3	7	-4	-57.1%												
	水産食料品					3											
	上記以外の食料品	21	19 (1)	2	10.5%	13	4	4									
	繊維・衣服その他繊維製品	4	4	0	0.0%	2	2										
	木材・木製品、家具・装備品	6	9	-3	-33.3%	2	3	1									
	パルプ・紙、印刷・製本	1	3	-2	-66.7%	1											
	化学工業	2	5	-3	-60.0%	1	1										
	窯業土石	4	5 (1)	-1	-20.0%	2	1	1									
	鉄鋼業、非鉄金属	1	4	-3	-75.0%	1											
	金属製品	8	4	4	100.0%	4	3	1									
建設業	一般機械器具	1	2	-1	-50.0%	1											
	電気機械器具	5	2	3	150.0%	2	2	1									
	輸送用機械製造	1	4	-3	-75.0%	1											
	電気・ガス	3	4	-1	-25.0%	1	1	1									
	その他の製造	60	72 (2)	-12	-16.7%	31	20	9									
	小計	1	1														
	土木工事	18	22 (1)	-4	-18.2%	6	5	7									
	鉄骨・鉄筋家屋	7	3	4	133.3%	3	2	2									
	木造家屋	14 (1)	21	-7	-33.3%	4	2	8 (1)									
	その他の建築工事	11 (4)	8 (4)	3	37.5%	7 (4)	3	1									
その他の建設	3	8	-5	-62.5%	2		1										
小計	53 (5)	62 (5)	-9	-14.5%	22 (4)	12	19 (1)										
運輸業	25 (3)	34 (1)	-9	-26.5%	9 (1)	13 (1)	3 (1)										
道路貨物運送業	7 (1)	10	-3	-30.0%	3 (1)	2	2										
その他の運輸交通業																	
貨物取扱																	
農業	12	9	3	33.3%	4	4	4										
林業	10	10	0	0.0%	3	6	1										
畜産業	1		1			1											
水産業	42 (5)	35 (3)	7	20.0%	25 (2)	13 (2)	4 (1)										
小売業	6	8	-2	-25.0%	2	1	3										
その他の商業	6 (3)	13 (6)	-7	-53.8%	1 (1)	2 (1)	3 (1)										
通信業	19 (2)	17	2	11.8%	7	11 (2)	1										
社会福祉施設	6	3	3	100.0%	1	5											
その他の保健衛生業	6	3	3	100.0%	2	2	2										
旅館業	5	3 (1)	2	66.7%	3	2											
飲食店	2	4	-2	-50.0%	1		1										
その他の接客娯楽業	7	10	-3	-30.0%	5	1	1										
ビルメンテナンス業	28 (5)	23 (1)	5	21.7%	15 (4)	8 (1)	5										
その他(上記以外の全ての業種)	296 (24)	317 (19)	-21	-6.6%	135 (13)	103 (7)	58 (4)										
合計																	

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。
内は死亡者数(内数)である。()内は交通労働災害者数(内数)である。